

東京都議選挙（北区） 各候補者 政策比較一覧表

各候補者へ政策についての質問をしました。いただいた回答を一覧にまとめましたので、各候補者の政策や考え方の違いをご覧ください。投票の際の検討の一助としてご利用ください。

基本的な考え方

課題を解決するための重要政策

	天風 いぶき	斉藤 りえ	佐藤 こと	しんどう かな	やまだ 加奈子
東京のめざすべき将来像	新型コロナ対策、超高齢社会対策、デジタル化の強化など、これまでのしがらみや制合いにとらわれずに改革を進め、都民一人ひとりの「人」が輝く東京を目指します。そのためには都議会が真に都民の利益を代弁しなければなりません。都民ファーストの会が都議会第一党となつて以降、都議会への対外的評価は上昇しています。	年齢や性別、障がいの有無などに問わず、誰一人取り残さない都市。自分とは異なる価値観を認め合い、共助・共存していくことで、多様性を誇りにすることのできる東京を目指します。	東京は、日本の経済の牽引役であり、経済だけでなく、あらゆる分野で最先端都市であるべきです。最先端企業が集積し、民間主導の経済成長を実現しつつ、障害者・LGBT・子育て世代・外国人などの「多様性」をどんどん全国に発信していき成功事例をもとに国を動かしていく、そんな都市にすべきと考えています。	住む人々が心安げに余裕を持つことができ、人々がそれぞれの生き方を本来の意味でリスペクトしあえる、本来の意味で多様性に寛容な街。常にゼロベースで考え、既存の常識を疑い続け、考えることをやめない。そうすることで最先端の面白い街になり、人々の創造性が溢れ、一層の魅力が溢れる、住みよい街になると信じている。	東京は将来も全国のけん引役として、「経済の中心」であり続ける。同時に、一人勝ちではなく、地方と一緒に豊かになる生活の場を作り出す役割を担う。自治体間交流などで、人、もの、情報、お金の流れを活性化し、各県や地区町村の特殊性を活かした地域づくりを、東京として、広域的な立場から支援していくべき。
東京の解決したい課題	まずは、検査・医療体制の強化や経済活動への支援など、新型コロナの第2波への備えを強化する必要があります。そして、私自身が現在、祖母の介護をしており高齢者の皆様が安心して暮らせる環境整備、そして母はシングルマザーとして私を育ててくれたので、子育てと仕事を両立できる環境の整備も重視しています。	まちづくりや施設、制度設計など、ハード面でソーシャル・インクルージョンの視点がまだまだ不足していることに加え、少しずつ広がってきた相互理解や優しさの視点といったソフト面も、よりいっそう推進していかなければなりません。	私が政治家になるきっかけが、長女の保護です。待機児童問題は私が最も取り組みたい課題の一つです。また、今回のコロナ対策では、都政の情報公開とIT化の進め方が目立ちました。音喜多さんが都政にいたときに最も取り組んでいたのは情報公開とITですので、私もその点を都政から強く訴えていきたいと思っています。	上記の抽象的な目的を達成し魅力あふれる街にするためには、まずは土台として構造づくりを行政がリーダーシップをとって推進するべきである。ホリエモン新党が掲げる、東京改造計画にある37項目はすべて相関性がある。これらすべてを実施することが、東京のめざすべき将来像にアプローチするための、現在の最適解である。	北区を始めとしたいいわゆる「周辺区」は、必ずしも「都心区」に合わせる必要はなく、その特色をどう伸ばすかが課題。特に財政では、区の自主財源比率が低く、国・都への依存構造をどう改善するか。基礎自治体は一律ではなく、国、都の制度は各自自治体に合わせて解釈の幅を柔軟に持たせる必要がある。自治体の自立を促したい。
コロナ自粛期間中の過ごし方	立候補の決意前でしたので自分自身と向き合っていました。現職女性知事の秘書・都民ファーストの会職員として都政に携わる中、待機児童対策等で党の都議がない北区の状況に疑問も感じていました。しがらみや制合いにとらわれない、自分の立場だからこそ改革の前に進めることができるのではないかと決意に至りました。	外出自粛に努め、学校が休校となっていた娘と過ごす時間がいつもより増える一方で、自宅でする仕事にも取り組んでいました。多様な働き方を実現するツールの価値は、こうしたコロナ禍であらためて見直されるべきではないかと思っています。	障害者支援の企業に勤めており、リモートワークで業務をしております。また、音喜多駿事務所のスタッフとして、コロナ対策の調査・提言を、都政対策委員（北区担当）として地元の吉田区議らとともに区民の困りごとの相談やコロナ支援策の紹介活動を行っておりました。	大好きなアイドルのライブが軒並み中止となり、精神的ダメージを受けた以外は、特段大きな変化はなかった。会議はZOOMで行い、ライブ配信も自宅からできるため、問題なく過ごした。外食をしなくなったので自炊と気分転換の散歩の機会が増えた。リアルで人と会うことを強要されなかったのも、個人的には生きやすかった。	区民の皆様からご相談をお聞きする毎日だった。学校や保育園に関する質問が特に多く、お母さん方の強い心配を感じた。区に関心合わせる中で、都の方針と区の現場対応が噛み合わない事も多く、区に様々な対応を促す場面もあった。対面で会えなくても、人と人とのコミュニケーションが大事なことは変わらない事も学んだ。
第1優先政策	新型コロナの第2波に備えた検査・医療体制の強化、経済への支援が必要です。都はこれまで休業協力金など総額1兆円超の対策を進めてきましたが家賃補助など追加対応も必要です。現職都知事の4年間の、事業見直しによる3,500億円の財源確保、都の借金（都債残高）6,000億円減少など「賢い支出」の継続により財源確保に努めます。	解消法の理念を具体化し、合理的配慮の標準化のレベルを引き上げていくことは、超高齢社会の東京が抱える課題への対応に直結します。公共部門での取り組みを強化するとともに、民間の施設や機器の整備に対する支援を拡充します。	音喜多駿の後継者として、都政の政策立案・政策意思決定過程の情報公開を徹底します。また、議員報酬の2割カットと企業団体献金の受取禁止を断行し、身を切る改革としがらみのない政治を進めます。そのうえで各種手続・行政サービスのIT化とキャッシュレス化を一層図り、都民の負担軽減と業務効率化を進めます。	規制により現状は禁じられているが、東京をライドシェア特区に認定することで規制を緩和し、移動をもっと便利にする。crewを代表に「あくまで個人情報の謝礼」という法の抜け穴を使ったライドシェアサービスが人気であるのも、需要が高いことの現れである。ルールを整備することで、安心して利用できるようにするべき。	東京の、コロナ後の「新たな社会」を共につくります。①都・区の危機管理に感染症対策強化を、②中小企業、商店街への新たな支援策を提案、③衛生習慣、免疫力向上と、新たな都市生活構築でコロナに強い東京へ、④テクノロジーとの共存や、マイナンバーカードのメリット整備
政策分野	安全・防災・震災復興	社会保障	行政・議会改革	uberの解禁	社会資本整備
第2優先政策	北区の高齢化率は23区でトップクラスです。私自身が現在、祖母の介護をしており高齢者の皆様が安心して暮らせる環境整備が必須と実感しています。介護人材の待遇向上・ICTによる業務の効率化などによる介護・医療体制の強化、バリアフリーの整備や介護予防（フレイル対策）など、総合的な対応が必要です。	貧困率が高いひとり親世帯など、子育てにおいて苦しい立場にある方々には、声をあげたり相談したりすることも難しい状況におかれているケースも多いことに鑑み、都内の全自治体でアウトリーチを積極的に展開します。	出産・育児・教育への大胆な投資を行います。特に、コロナによってニーズが高まっているベビーシッターを軸に、待機児童問題解決を目指します。また、学力格差の是正のため、丁寧なオンライン授業対応に取り組んでいます。	空き家を有効活用し、都営のシェアハウスを作る。東京は魅力的な街だが、生活コストが高すぎる。リモートワークの推進により、ますます狭い家に高い家賃を払う理由がなくなっている。民間ではADdRes など住み放題のサブスクリプションも人気だ。既存のシステムが見直されている今こそ、行政が推進するべきだと考える。	自然災害に備えるまちづくりで、強い東京を。①地震、風水害、中小河川管理の強化で、北区を守る。②木密地域の不燃化と無電柱化促進、③上下水道、電力等のライフラインを確実に担保、④災害に立ち向かう自主防災組織を、都・区が徹底サポート、⑤駅周辺の再開発で、防災力強化とまちの魅力づくり。
政策分野	社会保障	教育・子育て	教育・子育て	限りなく生活コストを下げる	安全・防災・震災復興
第3優先政策	私は幼い頃に父を亡くし、母は女手一つ、シングルマザーとして私含め三人の子供を育ててくれました。母の姿を見て実感しましたが、ひとり親が、仕事と子育てを安心して両立できる環境整備が必要です。北区では不十分な待機児童対策などの保育環境の整備、テワークなど柔軟な働き方の推進など多面的な対策が必要です。	障がいを持つ当事者としての視点で、どんな方であっても議会や行政においてバリアを感じずに活動・利用することができ、相互理解を進められる環境や仕組みを確立します。	科学的根拠に基づき、経済活動の早期全面再開を目指し、経済活動と新型コロナウイルス対策を両立させます。そのうえで、高いポテンシャルを持つ公営企業、特に都営交通について民営化の推進、特区を活用した法人税減税導入などを目指し、経済成長を図ります。	コロナ禍においてもなぜできないのか、期日前投票を、事前に配られた投票用紙も身分証もなく投票できる。名前と住所を記入した紙を、人間がデータベースと照らし合わせ、投票用紙がもらえるという流れだ。なぜそのシステムをインターネット上に移行しないのか疑問である。わざわざ投票場に行く時間的コストも削減できる。	心の絆を「育てる」支援を。①子育てを全力応援で児童虐待ゼロ。待機児童ゼロと、在宅子育て現金支援を、②健康寿命、介護者支援でシェア活躍応援、③オンライン教育と、リアルな「感情教育」で、子どもの生きる力を育てる。④女性も男性も輝き、暮らしやすい社会へ、⑤障がい者と共に歩む。
政策分野	教育・子育て	行政・議会改革	産業政策	ネット選挙の実現	教育・子育て

東京都議選補選（北区選挙区）を控え、候補者の皆様をお呼びし、市民が候補者の政策や人柄を把握し、掲げられた政策の必要性、実現性を見極め、選択できる機会を提供するためにネット討論会を2020年7月2日（木）21:00～ニコニコ生放送で配信いたします。

ニコニコ生放送
7月2日
21:00～

